

すごいぞ、お茶のパワー

六日市小学校 三年 佐々木 順脩

ぼくは毎年じいち^やんばあ^ちか^んとお茶つみをします。今年のハ十八夜は学校の日でした。学校から帰ってすぐにつみに行きました。上のやわらかい黄緑色のところの葉をつみまず。ばあ^ちか^んが、茶つみの歌をうたいながらつんでいたのので、ぼくも楽しい気分になりました。

次の日もつみました。近所のおじちゃんもつんでいました。

今日は、よくつめるねえ、いいねえ。と、声をかけてくれました。ぼくは、こしにつけたかごがいっぱいになるくらいつもうと思いました。お母さんときょうそうしました。ばあ^ちか^んが

し^やう^ちか^んは、つむのはやいねえ。

とほめてくれたので、ますますやる気になりました。ぼくのほうがたくさんつめました。

つみおわったら家に帰り、大きなべに入

れて火をつけました。今年ほくがマツ子で
火をつけました。かわいたすぎに火をつける
とすぐにパパーと火がつきました。ぐん手
をしてこげないように葉をパラパラするの
今年はじめてしました。あつかたです。

次にもみしました。お兄ちゃんがおいしそう
に葉を食べていました。ぼくも食べたりにか
かつたです。じいちゃんが、しかりもんた
ら味がよくなると言っていたので、しかり
もみしました。とてもいいにおいだったので、

何回もおいながらもみしました。もんた葉を
むしろの上にはほしました。夕方には色が変
つて、カラカウになつていました。つんた時
より、すぐく少なくなつていました。

八十八夜にぶんお茶は、体にいいしカン
にもなりにくいと、ばあちゃんが言つていま
した。今年はお兄ちゃんが家でい科でなら
つたおいしいお茶の入れ方で新茶をいれてく
れました。いつもはいじあるなお兄ちゃんた
けど、お茶のパワーでやさしくなりました。